

令和8年度 藤崎台保育園 事業計画

1, 保育の運営

本園は、「一人一人の子どもが元気なからだところを育む保育園」「個の成長と集団の活動の充実を図る」「保護者と地域で協力しながら、信頼される保育園を目指す」という三つの基本理念を大切にしながら教育・保育の一体的な提供を行っています。子どもたちが安心して過ごせる環境を整え主体的に学び遊びに向かう姿を支えるとともに、仲間とのかかわりを通して豊かな社会性が育まれるよう取り組んでいます。

また、保護者との連携を深め地域とのつながりを大切にしながら、一人ひとりが専門性を高め協力しあうことで、質の高い教育・保育の提供を目指します。

本事業計画では、これらの理念を基盤として、今年8年度の重点目標及び、基本的な取り組みを示し、園全体で共有しながら実践していくことを目的としています。

2, 保育推進

(1) 基本理念

- ・一人一人の子どもが元気なからだ心を育む保育園
- ・個の成長と集団としての活動の充実を図る
- ・保護者と地域で協力しながら、信頼される保育園を目指す

(2) 保育方針

- ・一人一人の子どもが安心して過ごせる環境を整え、体と心の健やかな育ちを支える
- ・子供の個性や発達のパースを尊重し、主体的な活動を大切にする
- ・集団の中でのかかわりを通して思いやりや協力する気持ちを育む
- ・保護者と丁寧に連携し、子どもの成長を共に喜び合える関係を築く
- ・地域とのつながりを大切にし、開かれた保育園として信頼される運営を行う
- ・職員同士が協力し、専門性を高めながら質の高い保育を目指す

(3) 保育目標

- ・心身ともに健やかに生活する力を育てる
- ・自分の思いを表現し相手の気持ちにも気づける子どもを育む
- ・好奇心を持って遊びに向かい、意欲的に活動できる姿を目指す
- ・生活習慣や社会的なルールを身につけて、集団生活を楽しめるようにする
- ・仲間と協力しながら活動する中で社会性思いやりの心を育てる

3, 開所時間

月曜～金曜日 午前7時～午後7時
土曜日 午前7時～午後6時

(1)

4. 保育時間

	利用時間	延長時間
<u>標準時間</u> 月～金曜日	7:00～18:00	18:01～19:00
土曜日	7:30～18:00	
<u>短時間</u> 月～金曜日	9:00～17:00	7:01～9:00
		17:01～19:00
土曜日	9:00～17:00	

5. 定員:60名

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
9名	11名	10名	10名	10名	10名	60名

利用定員：年度により変動あり

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
5名	12名	13名	13名	13名	12名	68名

《3月現在》

6. 職員数

*園長・・・1名	*保育士・・・10名
*副園長・・・1名	*看護師・・・1名
*主任・・・1名	*管理栄養士・・・2名（育休）
*主任参事・・・1名	*調理師・・・1名
*副主任・・・1名	*子育て支援員・・・1名
*事務・・・1名	*調理補助・・・1名

7. 内容（教育・保育のねらい）

0歳児 領域：健康・人間関係・環境

- ・保育士との安定した関係の中で、安心して生活し、心身の安定を図る
- ・身近な環境に興味を持ち、音・色・感触などの刺激を楽しむ
- ・自分の欲求を泣き声やしぐさで表し、受け止められる経験を重ね

1歳児 健康・人間関係・言葉・環境

- ・歩く・触れる言葉の芽生えを大切にし、身近な言葉に親しむ
- ・興味のあるものに自ら関わり、探索活動を広げる
- ・言葉の芽生えを大切にし、身近な言葉に親しむ
- ・興味のあるものに自ら関わり、探索活動を広げる

2 歳児 健康・人間関係・言葉・環境

- ・自分でやってみようとする気持ちを尊重し、主体性を育てる
- ・友だちへの興味が広がる中で、簡単なやり取りや協力する姿を支える
- ・言葉で気持ちを伝えようとする姿を育てる
- ・身近な自然や環境に触れ、発見や気づきを楽しむ

3 歳児 人間関係・言葉・環境・表現

- ・遊びを通して、好奇心や探究心を育む
- ・友だちと関わりながら、簡単なルールや約束に気づき守ろうとする
- ・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞こうとする姿を育てる
- ・絵や音、動きなどで表現する楽しさを味わう

4 歳児 人間関係・言葉・環境・表現・健康

- ・集団活動に主体的に参加し、役割を意識して取り組む
- ・自分の考えを言葉で伝え、相手の思いを理解しようとする力を育てる
- ・身近な地域や人とのかかわりを通して、社会への興味を広げる
- ・表現活動を通して、創造性や豊かな感性を育む

5 歳児 人間関係・言葉・環境・表現・健康（就学前の総まとめ）

- ・就学に向けて、生活習慣や社会的なルールを身につけ、見通しを持って行動する
- ・仲間と協力し、目的に向かって取り組む経験を通して達成感を味わう
- ・地域との交流や体験活動を通して、自分の世界を広げ、主体的に学ぶ姿を育む
- ・言葉・数・自然などへの興味を深め、学びの基礎となる力を育てる

これ以外に本園独自の『運動遊び』、『うた』を取り入れている。運動遊びについては文部科学省の「幼児期運動指針」に、毎日60分以上体を動かすことが大切と記載されていることも併せ計画をしていく

『運動遊び』

- ・体の動かし方・コントロールする力を育む
- ・瞬発力や柔軟性など身体能力を高める
- ・運動の楽しさや喜び、意欲を高める
- ・友だちと遊ぶことで協調性や社会性を培う

『うた』

- ・想像力や育むことに繋げていく
- ・音を体で表現していく
- ・曲のジャンルにこだわらず耳からの経験として親しむ
- ・季節の歌を知る、歌う

上記を踏まえ各クラスの年齢に応じた活動を行う。

※行事実行については、4歳児・5歳児による子ども会議を開き子どもたち一人一人の意見を聴きながら子どもが楽しめる行事にする。

例：こどもの日会、豆まき会、ひな祭り会などはゲーム・製作をしたいなどの内容に分かれて行う。

※各クラス年間計画を作成⇒月間計画⇒週案計画⇒日誌⇒個別を記入（ICT）

※年間行事予定表（別紙参照！）

8、保健関係

- ・健康状態並びに発育状態について、定期的・継続的に、また必要に応じて随時把握する
- ・登園及び保育中を通じて子どもの状態を観察し、疾病が疑われる状態や傷害が認められた場合、看護師の専門性を生かした対応を図り保護者に連絡する
- ・不適切な養育の兆候が見られる場合には適切な対応を図る。虐待が疑われる場合は児童相談所に通告、適切な対応を図る
- ・管理栄養士と保育士が連携を取りながら一人一人の栄養状態を共有できるように情報交換をする。また、一人一人についての課題がある時は保護者にも伝えることで共通理解をしていく

(1)健 診

【園児】

内科健診 年2回(4月、10月) 嘱託医いえむらクリニック
歯科検診 年1回(6月) 松岡歯科医院
身体測定 毎月 胸囲(5月、9月、1月)
頭囲(0歳児のみ) 5月、10月、1月

【職員】

職員健康診断 年1回
メンタルヘルスチェック 年1回
職員検便 調理従事者のみ毎月 ノロウィルス検便(10月～3月)
※保健計画案 保健日より(隔月)

9、防災、防犯、安全管理

- ・定期的に避難訓練を実施する（火災・地震・竜巻・不審者）
- ・防災備蓄品の点検と充実
- ・交通安全教室の実施・交通安全訓練を伴う散歩
- ・遊具・固定遊具の点検（毎週土曜日）
- ・緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担、避難訓練計画
- ・ケガ防止等に関するマニュアルを作成ヒヤリハット記録の充実（事故・ケガの記録）
- ・ヒヤリハット報告書
- ・事故防止委員会（内閣府）

10、保育実習（養成校）、ナイストライ（中学生）、インターンシップ（高校生）

- ・養成校と連携の下、受け入れる
8月26日（月）～9月6日（金）・・・2人（尚綱短大）予定
- ・中高生の希望があれば受け入れる
- ・中学校での職業講話

11、職員の研修計画

- ・園内研修を計画的に行う
- ・園外の保育園連盟、保育協会などの研修に職員を派遣す
- ・キャリアアップ研修が4分野満たない職員は受講する
- ・毎日午後の連絡会を行い、クラスの子どもの様子も伝えていく
- ・中長期計画で「はじめの100か月の育ちビジョン」についての研修を行う
※研修計画案（別紙参照Ⅱ）

12、家庭連絡

- ・個別の連絡帳（未満児：0歳児～2歳児）
- ・保健だより（隔月）
- ・毎日クラスの活動掲示（以上児：3歳児～5歳児）
- ・記録・ドキュメンテーションの掲示（月1回全クラス）
- ・「はい！チーズ」の連絡
- ・登園、降園のICT化
- ・ホームページの充実

13、給食

- ・管理栄養士による自園独自の献立の作成、バランスのとれた栄養メニューの提供を図る。また、手作りおやつも週4回提供する
- ・アレルギー対応についても保護者に必要書類を医師が記入し提出してもらい代替食の提供（0か100%の提供）
- ・アレルギーのある園児の誤飲誤食を防ぐため、食器の色分けて提供
- ・食中毒等の発生予防に、調理する際には衛生面に配慮し、食材も厳選し安全を期す
- ・食育会議、検討会議をすることで、作る人の思いと食べる側の様子を話し合う
(参考資料)
- ・食育年間計画に基づいて進めていく（絵本給食、前歯がぶり等）

(別紙参照Ⅲ)

14、活動内容

- ・英語教室セイハ英語教室(3歳児、4歳児、5歳児)ネイティブ講師、日本人講師
- ・文字の練習(年長児のみ)
- ・生け花教室(年長児のみ)
- ・近隣への散歩(週2回)
- ・毎朝体操(冬:マラソン)
- ・保育参観
- ・保護者面談(年2回、年長児のみ3回)
- ・体操教室(年長児のみ年中児検討中)

15、小学校との連携

- ・資質・能力と心情・意欲・態度の視点で幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を基にした接続のカリキュラム作成
- ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協同性 エ 道徳性・規範意識の芽生え
- オ 社会生活との関わり カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重
- ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ 言葉による伝えあい
- コ 豊かな感性と表現
- ・幼保小中連携協議会・授業参観
- ・保育園から就学先の小学校への『保育所児童要録』を作成し送付
- ・幼保小のかけ橋プログラム作成・・・一新幼稚園、一新小学校、横手保育園、シオンこども園(別紙参照Ⅳ)
- ・関係機関との連携(児童相談所、ウエルパル、ひばり園、すこやかこども相談)
- ・近隣幼稚園、校区小学校(一新小学校)との交流会

16、委員会及び内容

地域委員会

- ・ 地域の自治会に保育園での行事に参加してもらい交流を図る
- ・ 「一新子育てサークル」への協力

図書委員会

- ・ 保育園の絵本の貸し出し管理
- ・ 絵本の修理、絵本の入れ替え
- ・ 図書日より四季に合わせて掲示
- ・ 給食絵本との連携

事故防止委員会（マネジメント）

- ・ ヒヤリハット報告、事故発生時における対応・対策などを2か月に1度委員会を計り事故説明をしていく
- ・ 遊具点検の徹底

ホームページ

- ・ ホームページの内容についての検討会
- ・ クラスに写真の提供を依頼する
- ・ 随時掲載する

食育委員会

- ・ 子どもたちの食について栄養士・調理師・保育士代表それぞれの立場から意見を出し合う
- ・ 子どもたちの食に対しての興味意欲を育てていく
 - ・ 食育会議の後全職員に内容を回覧し自分の意見を記入する

18、保護者支援

- ・ 子どもの成長を中心にしながら、家庭が安心して子育てができるように保育園がサポートをしていく
- ・ 「連絡」や「相談対応」だけでなく、家庭と園が協力して子どもの育ちを支えるための包括的な取り組み

19、地域への取り組み

- ・ 園庭開放への取り組み
- ・ 地域の子育てサークルや民生委員と情報交換する
- ・ 地域のイベントに参加する

令和8年度 年間行事予定

別紙参照：I

4月	入園・対面式 芋の苗植え 内科検診 ピクニックの日
5月	子どもの日会 親子おみしり遠足 個人面談 幼年消防結成式
6月	歯科検診 個人面談 プール開き ピクニックの日 引越し予定(新園舎)
7月	七夕会 個人面談 ピクニックの日 プラネタリウム
8月	ピクニックの日
9月	個人面談 プレミアムディ(年長児) ピクニックの日
10月	ふじっこ祭り 芋ほり遠足 個人面談 人形劇 ピクニックの日 内科検診
11月	消防署見学(年長児) 運動会 保育参観 お菓子祭り(年長児・年中児)ピクニックの日 個人面談
12月	クリスマス会 ピクニックの日 影絵 個人面談 保育参観 年納め
1月	歳初め ピクニックの日 個人面談 交通安全教室 保育参観
2月	豆まき会 保育参観 個人面談 ピクニックの日
3月	ひな祭り会 卒園旅行 卒園式 ピクニックの日 お別れ遠足 幼年消防修了式 修了式

※ 毎月一回身体測定

※ 本物に触れる(楽器)

令和8年度 会議・研修計画

別紙参照: II

	職員会議	園内研修	園外研修
3月	職務分担・行事担当 室内環境(未満児・以上児)・子ども会議開催(子どもの日会) 食育会議	クラスの子どもの振り返りに ついて・個人目標(職員) 子ども会議についての振り返り 難聴時について 架け橋プログラムについて	
4月	親子おみしり遠足内容について 食育会議	「はじめての100か月の育ちビジョン」について NO,1 危機管理について 地域委員会	
5月	保育参観内容 保健衛生会議 食育会議	図書委員会 自己評価	
6月	子ども会議(七夕会・プレミアムデイについて) 食育会議 運動会の内容子ども会議開催	各クラスの状況 保健衛生(プール) マネジメント 子育て委員会	
7月	運動会内容 食育会議	地域委員会 「はじめての100か月の育ちビジョン」について NO,2	架け橋カリキュラム打ち合わせ
8月	運動会内容 食育会議	図書委員会	架け橋カリキュラム打ち合わせ
9月	食育会議 運動会内容	地域委員会 危機管理委員会 職員面談	
10月	食育会議	各クラスの状況 保健衛生	
11月	子ども会議(クリスマス) 食育会議	マネジメント 職員面談	
12月	子ども会議 食育会議	架け橋プログラム はじめての100か月の育ちビジョン」 NO,3	架け橋カリキュラム打ち合わせ
1月	食育会議	自己評価 行事の見直し	幼保小中連携会議
2月	食育会議	次年度計画 地域委員会 クラスの振り返り	
3月	食育会議	次年度計画 環境整備	

※ 園外研修については、熊本市保育園連盟の研修等に参加

園外での研修、園内研修をしていくために計画をし、職員の質向上を目指していきたい。
現状の段階で、園としての課題を出し合い何が必要なのかを洗い出す。また、挑戦していき
子どもと保護者が安心して通える保育園に卒園した後も遊びに帰ってこられる園を目指したい。
職員同士と小学校との接続もしっかりと行い卒園生の「登校しぶり」をひきおこさないようにスムーズに小学校へ送り出していく。